

北のカナリアたち



先生が島を追われた日、
私達は歌を捨てた。

吉永小百合

柴田恭兵

仲村トオル

森山未來

満島ひかり

勝地涼

宮崎あおい

小池栄子

松田龍平

里見浩太郎



11/3

「土祝」

全国ロードショー

www.kitanocanaria.jp

監督／阪本順治 撮影／木村大作 原案／湊かなえ「往復書簡」(2010年刊) 脚本／那須真知子 音楽／川井郁子
ロケーション協力／徳内市 利尻富士町 利尻町 礼文町 豊富町 藤建設 協力／ANA 宣伝協力／Incepem 助成／金文化芸術振興費補助金 配給／東映

東映創立60周年記念作品 ©2012「北のカナリアたち」製作委員会 監製 東映 NOT FOR SALE

20年ぶりの再会。それは衝撃と感動への序曲。



吉永小百合主演最新作!!

湊かなえの衝撃作を、日本映画最高峰のキャスト・スタッフが紡ぐ

日本映画に新たな歴史を刻む大型プロジェクト、東映創立60周年記念作品「北のカナリアたち」。「告白」のヒットが記憶に新しい湊かなえの「往復書簡」(幻冬舎刊)に収録された「二十年後の宿題」を原案に、かつてない衝撃と感動の物語が紡がれる。主演には、日本を代表する映画女優、吉永小百合。監督は「大鹿村騒動記」などで人間の内面を緻密に描くことに定評のある阪本順治。撮影は「劔岳 点の記」

では監督を務めた名カメラマン・木村大作。脚本は「北の零年」の那須真知子が手がける。日本最後の秘境と言われ今も壮大な大自然が残る利尻・礼文島を舞台に、体感温度が-30℃にもなる極寒の真冬と、美しい花々が咲き誇る初夏の2期に渡り、4ヶ月に及ぶ一大ロケを敢行。1年以上の製作期間をかけ、超豪華キャストと日本映画最高峰のスタッフによって描かれる物語が、スクリーンを感動へと導く。



<STORY> 小学校の教師・川島はる。彼女が赴任したのは北海道の離島にある生徒6人の小さな分校だった。先生が来るまで学校がつまらなかったとぼしていた生徒たち。彼らの歌の才能に気づいたはるは、合唱を通してその心を明るく照らしていく。生徒たちにも笑顔が溢れ、その歌声は島の人々も優しく包み込んでいった。そんなある日、悲しい事故が一同を襲う。生徒たちは心に深い傷を負い、はるは追われるように島を出ることになる。しかし、島を離れた後も心に残るのは生徒たちのことだった。

20年後、東京で暮らすはるに生徒の一人が起こした事件の知らせが届く。「なぜ、あの子が…」真相を知るため生徒たちとの再会を決意し、北へ向かう。久しぶりに再会した生徒たちは、20年前言葉にできなかった想いをはるに打ち明ける。それぞれが抱えていた後悔が大きな傷となり、今も心に残っていることを知ったはる。そして自身もまた、伝えることができずにいた想いを生徒たちに明かすのだった。明らかになる真実が止まっていた時間を氷解し、物語は衝撃と感動のクライマックスへ動き出す。

11月3日土祝 全国東映系ロードショー